

ひらひら蝶のように舞うトンボー チョウトンボー

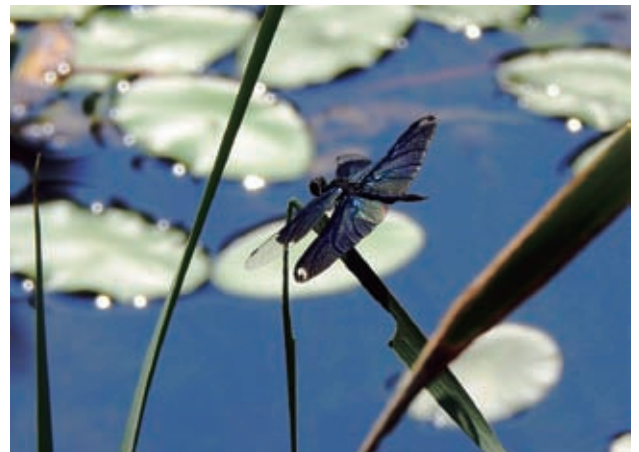
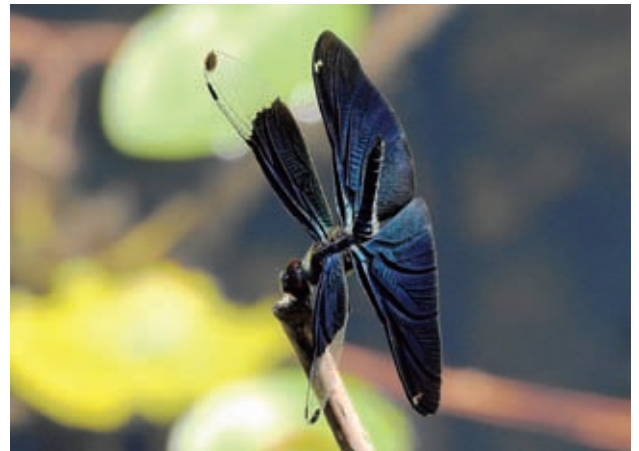
夏の陶史の森の池の周りを散策していると、鮮やかな濃い青色でしかも光沢があり、蝶のようにヒラヒラ舞う生き物を見かけます。蝶のようにも見えますがトンボ科に属する「チョウトンボ」です。翅は青紫色でつけ根から先端部にかけて黒く、強い金属光沢があります。前翅は細長く、後翅は幅広いトンボです。

「チョウトンボ」と呼ばれる理由は主に2つあります。主にトンボの翅は透明ですが、珍しく蝶のように色がついていることが一つ目です。そして、ヤンマなどのトンボは高速で飛行するイメージがありますがチョウトンボはひらひらとまるで蝶のように飛ぶことが二つ目の理由です。翅に色がついていてひらひらするので遠目では蝶が飛んでいるように見えます。

チョウトンボの金属光沢は、蝶のそれとは少々違います。蝶は鱗粉によって光沢を発していますが、チョウトンボには鱗粉がありません。

翅の構造を支える翅脈が圧倒的に緻密にできており、構造色（緻密な構造による発色現象）を発するようです。シャボン玉をイメージしてみてください。色はついていませんが緻密構造のために光が干渉し、見る角度によって虹のように七色に輝いて見えます。同様に、チョウトンボは濃い青色ですが、光の当たり方によっては、黒金色や黄金色にも輝いて見えます。

太陽の光いっぱいの夏空に輝くチョウトンボの舞の様子が、美しい宝石が飛んでいるように見えるのは私だけではないと思います。夏の陶史の森の貴重な風物詩の一つです。



芝生の修繕が完了

6月16日(火)

子ども広場に芝生の丘がありますが、その一部が崩れ、土砂が遊具の方へ流れ込んでいました。

このたび、土砂を止めるために木材で支え、土で埋め立て、芝生を張りました。緊急事態宣言中に陶史の森の作業員さんが修繕しました。

現在、芝生も青々と広がり、安全で美しい芝生の丘になっています。



教室のご案内

7月

バードウォッチング（要申込 定員10名）

7月26日(日) 午前9時～11時30分 雨天中止
夏の野鳥を観察します。

8月

川の生き物教室（要申込 定員10名）

8月2日(日) 午前9時～11時30分
川の生き物の観察と飼育方法を学びます。
※ぬれてもよい服装で参加してください。

夏の天体教室（要申込 定員10名）

8月15日(土) 午後7時30分～9時
集合場所：第2駐車場 天候により中止
夏の天体（土星、木星）を観測します。

バードウォッチング（要申込 定員10名）

8月23日(日) 午前9時～11時30分 雨天中止
夏の野鳥を観察します。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。